

薬剤部だより No.136

山口大学病院薬剤部

2001.5.17

注射薬取り扱い時の破損が増加しています

今年度に入り、約1カ月半経過しましたが、すでに73品目、計100アンプルの注射薬が破損伝票により請求されています。中には1アンプル約36,000円の高価な薬品(グランM等)や、向精神薬(ペンタジン等)抗癌剤などが含まれています。注射薬を取り扱う時は、細心の注意を払って下さい。

新規医薬品常備依頼書・医薬品緊急購入申請書が変わりました

5月14日より、新規医薬品常備依頼書・医薬品緊急購入申請書の用紙サイズがB5版からA4版に変わりました。これに伴い、記入内容も一部変更となっております(主な変更内容は下記の通りです)

	変更前	変更後
新規医薬品常備 依頼書	本品の常備により使用中または 使用量の減少する既常備薬品	本品の常備により 使用中 する 既 常備薬品
	健保「適」「否」	健保適用品のみの扱い
医薬品緊急購入 申請書	<必要理由> 当院常備薬ではいけない理由	<必要理由> 患者の状態、この薬剤に関わる治療 法等
		(追加)患者ID

なお、旧申請書は整理上支障をきたしますのご遠慮下さい。

薬袋の注意コメントを追加しました

パナルジン(抗血小板剤)リウマトレックス(抗リウマチ剤)服薬中は、重篤な副作用を回避するために、定期的に血液検査を実施することが添付文書上に記載されています。この度、薬袋に「服薬中は定期的に血液検査を受けて下さい」の注意コメントを印刷し、検査の実施をより一層喚起することにしました。

なお、添付文書に記載されている定期検査は以下の通りです。

	検査実施時期	検査内容
パナルジン	投与開始後2カ月間、2週に1回 (その後は定期的)	血球算定、肝機能検査
リウマトレックス	投与開始前及び投与中、4週間毎	血液検査、肝機能・腎機能検査、尿検査等

血管撮影室の薬品管理をカート交換方式にて開始

薬品カート交換方式による薬品管理を、血管撮影室において5月21日(月)より開始します。従来から救急外来で行っているように、薬剤部と血管撮影室との間で、週1回、カート内の薬品を交換します。

長期投与が可能となります

平成13年6月1日から、以下の薬剤が長期投与可能となります。

リピトール錠(HMG-CoA還元酵素阻害剤)	30日
マイスタン錠・細粒(抗てんかん剤)	90日

エレメンミック注のマンガン配合量が変わります

エレメンミック注(高カロリー輸液用微量元素製剤)のマンガンの配合量が、1アンプル(2 mL)中20 μmol から1 μmol に減量となります(変更内容は下記表の通りです)
変更品は6月1日から発売となり、これに伴い従来品は販売中止となります。

元素名	元素量(1アンプル中)	
	(変更前)	(変更後)
鉄 (Fe)	35 μmol	35 μmol
<u>マンガン (Mn)</u>	<u>20 μmol</u>	<u>1 μmol</u>
亜鉛 (Zn)	60 μmol	60 μmol
銅 (Cu)	5 μmol	5 μmol
ヨウ素 (I)	1 μmol	1 μmol

平成13年度の研修生は12名(女性12名)

平成13年度の薬剤部研修生教育が5月から始まりました(日本薬剤師研修センターからの薬剤師実務研修の女性2名を含む)また、1月より徳島文理大学薬学部医療薬学講座の大学院生(男性1名、女性1名)も薬剤部で研修を行っています。医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師を目指して頑張っています。服薬指導等で病棟を訪れる機会もあろうかと思いますが、その節はよろしく願います。

夏季学生実習実施のお知らせ

薬剤部では、薬学部3年次終了者を対象に夏季学生実習を行います。

- ・実施期間: 平成13年7月30日(月)~8月24日(金) (今年から4週間)
- ・申込み締切: 平成13年6月29日(金)必着

お問い合わせは副薬剤部長 石本(TEL 2672)まで